



ホソバシヨリマ	<i>Thelypteris beddomei</i> (Baker) Ching	絶滅危惧 I 類
		イノモトソウ科
選定理由	全国的に見ても産地が限られていて岐阜県でも狭い地域に僅かに生育しているだけで存続の基盤が脆弱である。	写真(岐阜県博物館) 標本
形態の特徴	夏緑性のシダ植物。根茎は這い葉は30cm位で下部の羽片は短くなり最下の数対は痕跡的になる。孢子嚢群は辺縁寄りに着き包膜は円腎形。	
生態的特徴	やや標高の高い山地の明るい林下に生育している。	
分布状況	岐阜県では中部の狭い地域に見られる。県内の自生地は北限になると思われる。	
減少要因	生育地の林下の光条件の悪化によるものと思われる。	
保全対策	生育地の間伐等適度な管理。林道等整備の際には配慮が必要である。	
特記事項	ヒメシダ属を細分化したハシゴシダ属として扱われることがある。	
参考文献	岩槻邦男. 1992. 日本の野生植物. シダ. P. 216. 平凡社. 東京. 倉田悟・中池敏之(編). 1997. 日本のシダ植物図鑑. 8. P. 44. 東京大学出版会. 東京.	

文責: 荻山恒弘